

こむ1会 運営委員会 会議録

日時：2021年12月10日(金曜) 13:30～15:30

場所：ぷらざこむ1の3階フリールーム

進行：②班(関戸・前田・村井・中小路・東)

出席：①班:三宅(こまどり)、伊藤(ふぁみりい劇場)、高原(情報ボラ)、油井(広域ボラ)

②班:関戸(3民児協)、村井(売布まち協)、東(個人)、中小路(個人)

③班:小林(シニアマジック)、仲田(うらら)

④班:河崎(エルライン)、三島(個人)、岡田(専心会)、佐々木(川流域)、中下(エリアナウス)

⑤班:田中(友の会)、山本(流域ネット)、榎本(個人)、角田(絵芝居)、村中(個人)

その他:岡本(財団)、沼田(ボラセン)、2名(社協包括支援センター)、2名(宝塚市地域福祉課)

ZOOM出席:②班:前田(一致バラ)

1. 議事/承認 「宝塚市セーフティネット」会議への参加依頼および説明

宝塚市地域福祉課および社協包括支援センターより、宝塚市セーフティネット会議についての説明があり、こむ1会に対して会議への出席者1名の参加依頼(継続して派遣依頼)があった。これまでは(前回会議までは)、こむ1会より、運営委員の榎本さん(北摂丹波里親会として)が参加。参加依頼する理由として、ボランティア活動者との情報共有および意見や提案を会議に寄せてもらえることが希望ではあるが、まずは現時点で会議の構成メンバーに、ボランティア活動者が少ない(こむ1会の1名のみ)ので、参加して欲しいとのことなどであった。

運営委員より、宝塚市セーフティネット会議の内容や構成メンバーを考えると、福祉分野での活動グループから派遣、運営委員会から派遣(選出)が適当ではないか、また構成メンバーとして既に参加している(民児協など)は同一母体からの重複になるので考慮(除外)して選出してはとの意見があった。

説明者にとの質疑および議論が交わされた結果、こむ1会からこれまでどおり1名の派遣することになった。派遣者の決定には至らなかったが、宝塚市セーフティネット会議の次回会議日(来年2月～3月)までには決定することになった(次回以降に議事延長)。

2. 連絡/報告 定例連絡および定例報告

・ こむ1会

(ア)会計から

年会費の徴収状況(年間の活動費の受付期間中のため途中経過の報告)、前月の出納状況の報告(消耗品購入:マジック、ケーブル)があった。

(イ)「ぷらざこむ1館内への広報物設置ルール・申請書」の様式決定

前回の提案後、意見等(文言の些末な修正)を踏まえて様式決定した。

(ウ)「こむ1会入会申請書兼連絡先登録届・連絡先変更届・退会届」の様式決定

前回の提案後、意見等(文言やレイアウト等の些末な修正)を踏まえて様式決定した。意見には質問が含まれており、こむ1会とボラセン、財団との違いが理解できていないことが原因であるものばかりだった。こむ1会の入会するキッカケになった時に(財団

に対して、ぷらざこむ1利用登録申請時など)説明を受けて、理解しているはずにも関わらず、今回のことで想定外(こむ1会のことを理解できていない人がいる)の状況であったので、今後、対応策を検討する必要があるのではとの提案があった。

(エ)「受付ボランティア会議」(2021/11/13)出席報告

こむ1会からの連絡事項としては、役員(未決定であった役員枠)の決定を報告。

こむ1会の会員について(個人会員?)の質問があったようだが、状況が掴めていないとのことで、まずは確認することになった。

(オ)「宝塚福祉コミュニティプラザ連絡会」(2021/12/02)出席報告

こむ1会からの連絡事項としては、広報物設置(のぼり設置)をスムーズに簡易な手続きのできる仕組みづくりしたと報告。他の施設(フレミラ等)に、のぼり等の設置したい場合の対応状況を聞いた。

フレミラでの、ボランティアに関係する活動状況についての話題がでた。

(カ)その他

今回、運営委員会に、室内乾燥時(冬季)の水分補給(加湿によるインフルエンザ感染予防の一貫)を目的と委員相互の交流を図るために、進行班(東)としての提案として、お茶を用意した。今後の運営委員会で継続してお茶程度の準備をするか、運営委員の意見を聞いて検討したいとの提案があった。

・ 公益財団法人プラザコム から

早期予約の受理、3階フリールームの利用申請は、今回はなし。ぷらざこむ1の1階に設置している「自動販売機」の値上げ(10円)が予定されている。1階の窓拭き清掃を予定、作業はさざんか福祉会(めふプラザ、かしの木工房、さざんか)。ぷらざこむ1全体の窓拭きは、専門業者が夏季実施、ぷらざこむ1の清掃等の委託先として、トイレ掃除は「和み」、こむ1の共用部分(階段、玄関、ホール等)は「めふプラザ」、掃除機内ゴミの回収は「めふプラザ」、福祉コミュニティプラザ内の草刈りは「和み」との連絡事項があった。

・ ボランティアセンター から

「コロナ禍における活動グッズの配布」の最終締め切り1月31日、「県民ボランティア活動助成金(3万円)申請」の最終締め切り令和4年4月1日。「オンラインレクリエーション」の出演者募集中、1月15日、2月15日、3月15日の最大1時間30分ですが30分だけ、1時間だけの出演も可能。「助成金報告会」を令和4年2月26日13:00~にて開催予定。歳末助けあい募金にご協力をお願いします、他の助成金情報として、「すみれの花基金事業助成」締切は令和4年1月20日との連絡事項があった。

相談事項があり、「登録グループの活動スペース2の利用について」として、ぷらざこむ1の活動スペース(1階)を定期的に利用した活動をしたいとの相談がボラセンにあった。現在も単発の使用(毎月1回)だが、今後は継続的に頻度も多く(毎週1回・特定の曜日時間)の使用を希望、参加者募集のチラシも配布予定。活動スペースを使用したい他の利用者との希望(相談)に重複があった場合等に、どのように対応していけばよいか、との相談があり、今回の予定議事後(その他事項)に、運営委員の意見を聞いて、協議事項(議事)とするのか判断することになった。

3. **議事/承認** 運営委員会開催の流れ・班の仕事の流れを確認整備する

運営委員会開催までの流れを手順化することで、やるべき仕事を誰もが把握でき、準備等の抜け落ちにくくなることで、円滑に運営しやすくする仕組みの構築をしてはとの提案があり、前年度の流れを参考にしながら、仕組みの確立（手順化）を図ることになった。

また、運営委員会の決定等事項および次回に検討する事項の確認を運営委員会の会議時間内に設け、全員で共有（ふりかえり）を行うことが提案され、今回より実施していくことになった。

4. **議事/承認** 企画検討会・実行委員会の名称や目的などの確認および整理

前回、ワーキングチームからの名称変更（企画検討会または実行委員会）の提案があり、前年度の各ワーキングチーム等に対して、希望名称および活動目的等の照会を行ったところ、名称について再検討を求める意見があった。また、活動目的や活動内容の範囲等の差が違いすぎる（多岐に渡るもの、仕事量にも違いがありすぎる）との意見があったため、運営委員会にて整理（調整）、統一のガイドライン（取り決め）のようなものを考えることになった。

① 企画検討会と実行委員会との違いについて

企画検討会… テーマ、分野など関心ある事柄に、関心ある人らが誰でもが集って立ち上げる。事業予算（会議に必要な事務経費は除く）や運営委員会同等の承認（決定）権は持たない。企画検討後、運営委員会へ提案（問題提起）や検討結果の報告等を行うことが主になる。

実行委員会… 企画検討会からの提案等で、運営委員会の承認で設立する。実行に向けての作業活動が主になり、事業実施に必要な大きな費用（予算）については、運営委員会にて予算案を申請および承認後に得ることができる。

② ガイドラインの考え方

運営委員会と同様な考え方を踏襲する。ワーキングチームや実行委員会等は、運営委員会の仕事を分業（分担、委託）するために設置するもので、運営委員会と同等な進め方（議論のプロセスや、意思決定の方針等）である必要がある。

会員から参加や意見提案を募り、議論して合意形成（合意点を見出し）をするのが原則。

任意の集まり（特定の個人らの井戸端会議）ではないのだから、こむ1会としての集まり（各企画検討会等）としての行動となる必要（公共性や公平性の担保が前提）がある。

③ 会議開催時（招集告知）のガイドライン

会員が興味関心ある会議（議論）に参加できるようにすることが原則。

コムワンネットに事前掲載が必衰。開催日時や場所、議論の内容（レジメ）、誰でも参加できるという趣旨の記載をすること。

具体的な詳細規定の議論は時間がなくできなかった（次回以降に議事延長）が、原則に準じるように実施することを条件に、詳細規定が決定するまでの間であっても会議開催が可能となった（様々な活動が進むこと自体は積極的に推進するが、こむ1会の会員の参画が伴ってこそ活動を推進する意義がある）。

④ 次回以降の議事（検討内容）

- ・ 運営委員会の持つ権限を、どの程度与えるのか（実行委員会にどの程度の自由裁量権を移管）

- ・ 運営委員会との情報共有の仕組みをどうするのか（運営委員が分散し各実行委員会に参加）
- ・ 各実行委員会等の活動目的、活動到達点（ゴール）を明確にする
などがあった。

5. その他

(1) 1階の活動スペースの定期的な利用について（ボラセンからの相談を受けて:上記記載）

定期的に同一の利用者が固定した使い方は寡占状態になる恐れがあるので、ガイドラインづくりが必要ではないか、今回の発端となった利用者の広報チラシを見ると、参加費を徴収している（実費相当なのか不明瞭）、タイトルが「○○教室」と記載されている等の意見があった。

今回の発端となった利用者に対する論点と、定期的に活動スペースを利用する仕組みづくりの論点などの論点を整理して、次回の議事とすることになり、運営委員は「論点としたいこと」を、こむ1会メール宛に意見（送信）することになった。

(2) 年末年始の「オープン ZOOM 会議室」の設置

ぷらざこむ1の年末年始の休館期間中に、こむ1会内の協議（実行員会等の会議）や連絡相談、交流の一助になればと、ZOOM 会議室の自由開放のようなものを試みてみてはとの提案があり、準備が整い次第、試験的に実施することになった。具体案としては、毎日の夜間の一定時間に、自由出入りできる ZOOM 会議室（オンライン上に設置）を用意、想定イメージは、ぷらざこむ1の1階の活動スペースのような状況で、その場の利用者同士で話し合って活用（こむ1会の全体に関わる話題で利用および公開利用が原則、個人的な利用にならないようにする）する、詳細については、コムワンネットに掲載予定。

6. **議事/承認** 次回の運営委員会の開催について

今回会議の決定内容の確認（ふりかえり）、継続審議事項の確認および次回会議への議事内容（延長議事について）の確認をした。

日時：2022年1月11日（火曜） 13:30～15:30

（1月10日が祝日にあたり、ぷらざこむ1が休館のため、順延することになった）

場所：ぷらざこむ1の3階フリースペース（ZOOM 併用）

進行：3班

※ 追伸：連絡会議（次回の運営委員会のレジュメ作成のため）の開催日について

日時：12月25日（土曜） 13:30～15:00

場所：ぷらざこむ1 会議室21AB

予定出席者：各班長または副班長（各班より1名）・運営委員の3班・役員
財団・ボラセン等

内容：1月運営委員会のレジュメ案

- ・ 定例連絡及び定例報告
- ・ 議事：「宝塚市セーフティーネットシステム」会議への派遣1名の人選
- ・ 議事：企画検討会や実行委員会等の活動状況及び活動の具体化
- ・ その他 運営委員や会員からの申し出の議案（提案）の内容について